

看護栄養学部のカリキュラム・ポリシー

市民的教養を涵養するとともに、看護学もしくは栄養学の基礎的な知識・技術を修得し、科学的かつ倫理的判断に基づく実践能力を有した専門職業人を育成することを目指します。加えて、人口減少・少子高齢化・医療資源の偏在など島根県が抱える地域課題を踏まえ、人々の健康と生活の質の向上に寄与できるよう教育課程には以下の特色を持たせています。

- (1) 市民的教養と多様な価値観を認める豊かな人間性を涵養するとともに、看護学や栄養学の基盤となる人間を深く理解するための科目群を設けています。
- (2) 島根県で暮らす人々の生活と健康課題を理解し、課題解決・地域創成のための創造的な思考と参画力を修得するために、地域に赴くフィールドワークや実習を系統的に配置しています。
- (3) 人々に質の高い保健・医療・福祉サービスを提供する上で不可欠な多職種連携ができる基盤を形成するために、看護学科と健康栄養学科双方の学生がそれぞれの専門性を理解し学び合うことができる科目群を設けています。
- (4) 看護学・栄養学それぞれの基礎的な知識・技術を修得し実践能力を高めるために、基礎的な科目から応用発展的な科目を系統的に配置しています。
- (5) 変化する社会情勢に対応できる専門職であり続けるために、フィールドワーク・演習・実験・実習などの体験型学習を通して主体性や自己研鑽する力を育む学修機会を段階的に設けています。

健康栄養学科のカリキュラム・ポリシー

(1) 市民としての教養の修得及び実践力の育成

幅広く基礎的な知識や考え方、外国語能力を身につけ、市民に必要とされる教養を培う。

(2) 管理栄養士に必要とされる専門性及び実践力の育成

管理栄養士として必要な専門的な知識と技術を身につけ、その発展的活用を通して、課題発見、問題解決能力を培い、個々に応じた栄養の指導を実践するための能力を育成する。

(3) 関連職種連携に必要とされる能力及び職業倫理に基づく実践力の育成

管理栄養士としての倫理観や職業観を培い、チームの一員として、関連職種と連携し、協働できる力を育成する。

(4) 地域の栄養改善のための実践力の育成

地域社会の成り立ちや関係者・関係機関の連携・協働、行政による健康・栄養改善への取組を理解し、地域の健康づくり、公衆衛生の改善に参画することができる能力を育成する。在宅ケアにおける関連職種との連携について理解し、在宅における栄養ケアが実践できる能力を育成する。